

平成 23・24 年度 土木学会複合構造委員会 第 10 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 24 年 10 月 31 日(水) 14:00～17:00
2. 場 所：土木学会 D 会議室
3. 出席者：杉浦委員長，島副委員長，西崎幹事長，池田幹事，大久保幹事，奥井幹事，下村幹事，
立神幹事，広瀬幹事，古市幹事，松本幹事，渡辺幹事
竹原事務局 (欠席者：大山幹事，葛西幹事，斉藤幹事，溝江幹事)

4. 配布資料

- 資料 幹10-0 第10回複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹10-1 第9回複合構造委員会幹事会議事録 (案)
- 資料 幹10-2-1 第4回FRPシンポジウムプログラム
- 資料 幹10-2-2 第4回FRPシンポジウム当日係
- 資料 幹10-2-3 第4回FRPシンポジウム行事計画書
- 資料 幹10-3 土木学会論文集特集号準備状況について
- 資料 幹10-4-1 次期委員長候補選出方法について
- 資料 幹10-4-2 次期委員長候補者 選出に係る立候補・推薦についてのご案内
- 資料 幹10-4-3 次期委員長立候補・推薦用紙
- 資料 幹10-4-4 複合構造委員会委員長候補者選考細則
- 資料 幹10-5-1 出版関連報告
- 資料 幹10-5-2 出版企画ヒアリング プログラム (案)
- 資料 幹10-5-3 出版企画書 (H104)
- 資料 幹10-5-4 出版企画書 (H210)
- 資料 幹10-6-0-1 小委員会一覧
- 資料 幹10-6-0-2 幹事会業務分担
- 資料 幹10-6-4 FRP水門技術ガイドライン作成小委員会 (H180) 趣意書・構成等
- 資料 幹10-7-1 各賞推薦
- 資料 幹10-7-2 土木学会功績賞推薦依頼
- 資料 幹10-7-3 土木学会田中賞推薦依頼
- 資料 幹10-7-4 複合構造委員会による土木学会各賞等の候補推薦細則
- 資料 幹10-7-5 田中賞・国際貢献賞
- 資料 幹10-8-1 平成25年度全国大会共通セッションテーマの募集
- 資料 幹10-8-2 平成25年度全国大会特別セッションテーマの募集
- 資料 幹10-8-3 部門別セッション名
- 資料 幹10-8-4 平成25年度全国大会共通セッションテーマ申込み
- 資料 幹10-9-1 国際センター通信の展開について (依頼)
- 資料 幹10-9-2 No.1_IAC News(Jap.)
- 資料 幹10-9-3 No.2_IAC News(Jap.)
- 資料 幹10-9-4 No.3_IAC News(Jap.)
- 資料 幹10-9-5 No.4_IAC News(Jap.)

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり、杉浦委員長より挨拶がなされた。

(2) 平成 23・24 年度 第 9 回 複合構造委員会 幹事会議事録(案)の確認 (資料 幹 10-1)

西崎幹事長より、前回(第 9 回)幹事会の議事録(案)が読み上げられ、以下の修正を含めて承認された。

・(6)受託研究について

「現在、「ダム・堰施設技術基準・同解説」の改訂を行う」を削除する。

(3) 第 4 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウムについて(資料 10-2-1, 2, 3)

古市幹事より、プログラムと行事計画の説明があった。論文発表は合計 20 編である。11 月 1 日夕刻の懇親会についての参加依頼もあった。また、当日の集合時間と役割分担を確認した。

(4) 論文集特集号準備状況(資料 10-3)

西崎幹事長より、論文集特集号の準備状況について説明があった。また、杉浦委員長より建築学会河野昭彦先生との交渉経緯が説明され、結果として建築学会としては提案を受け入れることが困難であるとの報告があった。

別の選択肢についての議論を行った結果、まず、複合構造委員会から小委への重点的配分には成果が求められることを確認した。その上で、編集小委の予算は複合構造委員会から配分すること、またシンポ還付金は複合構造委員会に還付となるので、シンポでは黒字額確保に努めること、との方針で検討することとした。次回建築主催の複合シンポについては参加費値上げについて協議をすることとした。以上の方針を今後親委員会に諮ることとする。

(5) 委員長選挙について(幹 10-4-1, 2, 3, 4)

西崎幹事長より、委員長選挙手順・日程について説明があった。以下の修正を行い、実施していくことが承認された。

- ・資料幹 10-4-1 と 2 は選挙管理小委の役職名に修正（正：西崎小委員長，大山委員，古市委員）。
- ・資料幹 10-4-2 は立候補・推薦の受付締め切りの曜日を修正（正：平成 24 年 12 月 25 日（火）締切）。

(6) 出版関係(幹 10-5-1, 2, 3, 4)

立神幹事より、出版図書販売状況について報告があった。出版図書の収支は全て黒字となっている。また、H104 と H210 の出版企画書のヒアリング結果について報告があった。

・H104（書名：東日本震災調査委員会報告書）

タイトルに複合構造という文言を入れて変更できないか。→小委員会に持ち帰り検討

500 部で 1500 円の計画は、3500 円でないと収支がプラスにならない。→小委員会に持ち帰り検討
複合構造物の被災はあったのかという質問があった。→崩壊事例はない。

・H210（書名：複合構造物を対象とした防水・排水技術の現状評価（仮称））

300 部で 2500 円の計画は、500 部 3500 円でないと収支がプラスにならない。→小委員会に持ち帰り検討

(7) 小委員会報告審議事項(幹 10-6-0-1, 2)

西崎幹事長より、土木学会論文集特集号編集小委員会（H005）及び FRP 水門設計ガイドライン作

成小委員会（H180）が資料幹 10-6-0-1 に追加されたとの説明があった。幹事会業務分担については、H005 小委員会連絡幹事として葛西幹事が担当することとした。また、論文集編集委員会 A1 担当は、島副委員長から古市幹事に修正する。

H101 複合構造標準示方書小委員会

渡辺幹事より、次の全体委員会は年末であり、年度末の全体委員会で本文を調整するとの報告があった。

H104 東日本大震災被害調査小委員会

渡辺幹事より、12 月に最終の委員会を開催するとの報告があった。出版される報告書の内容には、複合構造物の被災事例（破壊はなく、軽微な損傷のまとめ）、数値計算例（破壊しなかったことの確認、破壊する場合のシミュレーション）、復旧についての分析、が含まれる。

H105 300 年プロジェクト小委員会

古市幹事より報告があった。現在 WG が活動中である。最終委員会は 2 月 22 日北海道にて開催し、前日の 21 日に見学会を合わせて実施する予定である。

H180 FRP 水門技術ガイドライン作成小委員会（資料幹 10-6-4）

西崎幹事長より、活動を開始したとの報告があり、今後の日程が説明された。

H206 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会

渡辺幹事より報告があった。小委で実験を考えているが、関連費用に小委予算を使うことは可能かとの質問があった。使うことは可能で、既に前例もあることを確認した。成果公表時に、小委の活動であることを明示することに留意する。

また、小委予算の増額について議論が行われ、年末時期に 2 次申請を受け付けることとなった。次回 12 月 18 日幹事会にて 2 次申請を受け付けるように準備を進めることとした。

H208 FRP 複合構造研究小委員会

西崎幹事長より、中間報告として第 4 回 FRP シンポにて特別セッションを開催するとの報告があった。

H209 FRP によるコンクリート構造の補強設計研究小委員会

立神幹事より、2 期目最初の委員会が開催される予定であるとの報告があった。

H210 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会

西崎幹事長（溝江幹事代理）より、報告書の作成中であるとの報告があった。

H211 FRP と鋼の接合方法に関する研究小委員会

大久保幹事より報告があった。11 月 6 日に委員会が開催される予定であり、今年度末終了までに残り 3 回開催される予定である。WG1 と 2 がそれぞれ報告書を作成する。次回の出版企画書のヒアリングに臨む予定であり、講習会は 2013 年 9 月に開催の予定である。講習会は他の小委（H104, H210）と合同開催するというアイデアもある。

H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

西崎幹事長より説明があった。委員募集は 10 月 31 日が締切であり、報告は次回以降となるが、連

絡幹事はまだ決まっていない。池田幹事からも説明があった。委員（10 数名）はほぼ決定しており、第 1 回委員会の日程を調整中である。

(8) その他

・各賞推薦について(資料幹 10-7-1, 2, 3, 4, 5)

西崎幹事長より各賞推薦について説明があった。12 月上旬締切で委員会内に案内をする。今年度は功績賞に池田尚治先生が候補として考えられる。この準備に関して、過去の経緯を事務局と大垣元幹事に確認する。

・年次大会について(幹 10-8-1, 2, 3, 4)

西崎幹事長より、年次大会の共通セッション募集について説明があった。例年通り「複合構造物」で応募することが承認された。

・国際センター通信について(幹 10-9-1, 2, 3, 4, 5)

西崎幹事長より、国際センター通信について紹介があった。定期配信登録と通信への情報提供を募っている旨、委員会メーリングリストに案内することにした。

以上 (記録・文責：松本)